

ダイアボンド No.8005 (一般用低粘度・速硬化瞬間接着剤)

ダイアボンド No.8005は α -シアノアクリレート系接着剤で、広範な材料に接着可能な無溶剤の一液形化学反応性接着剤です。

§ 特長

1. 汎用的で標準とされる瞬間接着剤です。
2. 曳糸性が少なく、塗布が容易です。
3. 短時間で強力に接着します。
4. 金属、ゴム、プラスチックなどの接着も可能です。

§ 用途

1. 金属、ゴム、プラスチックなどの同種または異種の接着
2. 各種部品の仮止め接着

☆被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

§ 一般性状

主成分	エチルシアノアクリレート
外観	無色透明
反応分 (%)	100
粘度 (mPa·s) at20°C	3以下
保証期間 (月) at 5°C	12
引火点 (°C)	80

§ 使用方法

1. 前処理 被着材表面の水分やゴミ、油などを除去し、汚れのないよう清浄にします。接着面は、密着できるよう、平滑にします。
2. 接着 片面に少量接着剤を滴下し、素早く他の接着面とあわせ、指または手で押えます。

§ セットタイム (接着後、0.5 MPa の力で引張っても被着材が動かなくなるまでの時間)

被着材	セットタイム (秒)
クロロプレングム	10 ~ 15
スチレンブタジエンゴム	10 ~ 15
ニトリルゴム	10 ~ 15
ABS 樹脂	10 ~ 15
硬質塩化ビニル樹脂	15 ~ 20
アクリル樹脂	10 ~ 20
鋼 板	10 ~ 30
ステンレス鋼板	15 ~ 30

§ 接着強さ

引張りせん断接着強さ

(MPa)

被着材	常態 48 時間後	
クロロプレングム		4 *
スチレンブタジエンゴム		5 *
ニトリルゴム		6 *
ABS 樹脂		6 *
硬質塩化ビニル樹脂		7 *
アクリル樹脂		9 *
鋼 板		18
ステンレス鋼板		16

* : 材質破壊

試験方法 : JIS K 6850 に準ずる

§ 注意事項

- ・ 接着剤は塗布量が多過ぎると接着速度が遅くなる上に、所定の接着力が得られなくなります。
- ・ 容器に穴を開ける時は、ノズル先端を顔に向けないようにして下さい。
- ・ 作業に当たっては、目に入らないように保護メガネなどを着用して下さい。
- ・ この接着剤は皮膚を瞬間に接着するため、皮膚につけないよう十分に注意して下さい。
- ・ あやまって指などを接着したときは、お湯の中でゆっくりもみほぐしながらはがすか、瞬間接着剤はがし液を使用して下さい。
- ・ 万一眼に入った時は、すぐに大量の水で洗眼し、必ず医師の手当を受けて下さい。無理にはがそうとしたり、目をこすったりは絶対しないで下さい。
- ・ 取扱い作業中には換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 布、皮などの手袋や着衣などに多量に浸み込んだ場合、急激に発熱して火傷することがありますので注意して下さい。
- ・ 使用後は、必ず密栓して直射日光の当たらない場所に、湿気ならびに塩基性物質 (硬化促進剤, アミ

- ンなど) を避けて保管して下さい。また、長期保管される時は冷蔵庫 (5 ℃) で保管して下さい。
- ・ 廃棄するときは、容器を密封して、産業廃棄物 (燃えないごみ) として処理して下さい。
 - ・ 子供の手の届かないところに保管して下さい。
 - ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。
 - ・ 消防法：第四類第三石油類 (非水溶性液体) (危険等級Ⅲ) に該当。

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。